

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：学校健康教育費

事業名 県立学校給食設備安定化対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 学校給食係 電話番号：058-272-1111(内8715)

E-mail : c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 補正要求額

1,299 千円 (現計予算額 :

8,044 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 入	寄附金	その他	県 債	一 般 源
現 計 予算額	8,044	0	0	0	0	0	0	0	8,044
補 正 要求額	1,299	0	0	0	0	0	0	0	1,299
決定額	1,299	0	0	0	0	0	0	0	1,299

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

安全・安心な学校給食を提供するため、老朽化により給食業務に支障をきたしている給食備品の修繕や計画的な更新を進めることにより、学校給食衛生管理基準に照らした適切な学校給食を実施し、学校給食を安定的に提供するための調理環境を整備する。

(2) 事業内容

- ・円滑で衛生的な学校給食の運営ができるよう不具合が発生している備品の修繕を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10／10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
修繕料	1,299	給食設備の修繕
合計	1,299	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

学校給食法・学校給食衛生管理基準

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

老朽化により、調理業務に支障をきたしている給食備品の修繕・更新等を進めることにより、学校給食の調理現場の環境改善や児童生徒の喫食に係る環境整備を推進していく。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

衛生管理に関する事業のため、指標の設定に馴染まない。

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	
令和 5 年 度	円滑で衛生的な学校給食の運営ができるよう備品の修理・更新と食器・食缶類や二次調理機器の補充・取替等を実施
令和 6 年 度	円滑で衛生的な学校給食の運営ができるよう備品の修理・更新と食器・食缶類や二次調理機器の補充・取替等を実施

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	学校給食を安全に提供することは、児童生徒の健やかな成長や食育推進に必要不可欠である。そのため、衛生管理基準を基にした調理場の整備を行い、よりよい学校給食の提供を行うために必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
(評価) 2	学校からの修繕・更新希望に対し、必要性を判断し、迅速に対応することで、学校給食業務の円滑な遂行に貢献している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
(評価) 2	学校からの要望に基づき対応を行っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

経年経過による厨房機器の不具合により更新が必要なものが多くみられるが、更新が高額となったり、交換部品の調達が困難で長期停止に至るリスクがある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
給食備品の老朽化が進んでおり、計画的に修繕・更新をしていく必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	